



令和5年度 学校経営の目標について

赤穂市立赤穂西中学校長

(校訓)

友情
誠実
勤勉

(めざす生徒像)

- ・共に伸びる生徒
- ・共に生きる生徒
- ・共に学ぶ生徒

(めざす教師像)

- ・感性豊かで創造的な教師
- ・生徒に夢と希望を持たせる教師
- ・自己研鑽に努め、使命感を自覚する教師

『高い志を持ち、心豊かで「自信」と「誇り」あふれる生徒の育成』
 ～ 「歌声」と「あいさつの声」、「笑顔」があふれる学校 ～

基本方針

- (1) 子供たちに高い志（夢や希望）を持たせ、「豊かな心」を育むとともに、自身と母校、さらには地域に対する「自信」・「誇り」を醸成させる。
- (2) 子供たちが互いに信頼し合い、毎日『笑顔』で安心して生活できる学校づくりのため、日々の「歌声」・「あいさつ」を大切に、教育活動の中核に据える。
- (3) 「和」の心を尊び、みんなで心をつにし、優しい気持ちで互いを尊重し合う生徒を育成する。

努力目標と実践項目

(1) 確かな学力を育成する。 <知>

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒同士の学び合いを通しながら、共に向上しようとする態度を育成する。
- ② 校内授業研究の充実や授業等相互自由参観の奨励を進め、「分かる授業」の創造をめざし、子供たちが主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ③ 授業改善を図るとともに、モジュール学習を充実させ、各教科における基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ④ 新たな社会Society5.0をめざしたGIGAスクール構想を推進する。

(2) 豊かな心を育成する。 <徳>

- ① 計画的な道徳授業実践を中核とし、教育活動全般を通して、人を思いやる心を育て、仲間とともによりよく生きようとする態度を育てる。
- ② 人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を推進し、「自他の人権を守ろう」とする意識、意欲、態度を育成する。
- ③ 体験的、実践的な活動を通して自立心や自律性、ルールやきまりを主体的に尊重する心や態度を育てる。
- ④ 「命の大切さ」を実感させる心の教育の充実を図り、人の痛みや感情を共感的に受容できる想像力や感受性、社会性を育成する。
- ⑤ ボランティア活動を通して、共に生きる心の教育を推進する。

(3) 健やかな体を育成する。 <体>

- ① 感染症対策を講じた上で、生徒の「安心・安全な学び」の保障に向けた教育活動を推進する。
- ② 全教育活動を通じて体力の向上に努め、心身共に健康な体づくりを推進する。
- ③ 健康的な生活習慣の基礎を築き、『早寝、早起き、朝ごはん』の習慣化を図る。

(4) 新たな不登校を生み出さない取組を推進する。

不登校傾向を示す生徒や保護者との積極的な関わりと関係機関の協力を得ながら、早期対応を実践し、新たな不登校を生み出さない環境をつくる。

(5) 特別支援教育の充実を推進する。

- ① 生徒支援会議の充実を図り、特別支援学級の生徒へは系統立った一貫性のある指導体制を構築する。また、特別支援教育指導補助員との連携を図り、一人一人の教育ニーズに対応した、より効果的な支援を推進する。
- ② インクルーシブ社会の実現へ向け、自立して社会参加できる教育を充実させる。

(6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ① 学校運営協議会（コミュニティスクール）を活用した学校運営の改善に努める。
- ② 学校の運営状況や取組等の情報を、保護者や地域に積極的に提供するとともに、地域に開かれた特色ある教育活動を進める。
- ③ 地域体験活動、ボランティア活動等を通して、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ④ 中学校区の学校園所でPTAや地域と連携したあいさつ運動を推進する。
- ⑤ 学校評価等の総括から、PDCAサイクルを活かした学校運営の改善に努める。